

2024 第3回 阪大本番レベル模試（人外法経）

採点基準

■現代文 採点の原則

■採点の原則

- ① 全ての答案について各要素単独採点とするが、答案が全く日本語の文（章）の体をなしていないと判断される場合は、要素の有無に関係なく0点とする。
- ② 文脈のねじれがある、また主述の対応に問題があると判断される場合は、要素ごとに加点した上で、全体から2点減点する。
- ③ 漢字の誤り、送り仮名の誤り、句点の欠如については、一つごとに1点減点する。

□ 現代文 50点

問一 6点

(ア) ・ (エ) (完答)

問二 14点

■模範解答例 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A〇2点

B〇2点

C〇3点

封建制が解体し、民主的な平等化が進展していく歴史的なプロセスの中で、政治的・経済的等々の不平等を

D〇2点

E↓

不当だと考える人々の嫉妬感情が爆発的に拡大していったが、そうした状況を生み出す中心にあったのが

F〇3点

E〇2点

G

他者を自分と同類と見なす人間の想像力であったから。(14点)

■字数：百二十文字 五十九字以下のものは全体不可（0点）

■形式上の不備

- ・文末表現は要素G参照

◆加点ポイント

■要素A「封建制が解体し」：2点

- ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば可。
- △ 説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素B「民主的な平等化が進展していく歴史的なプロセスの中で」：2点

- 「歴史的」はなくても可。ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば可。
- △ 「民主的な」を欠くなど、説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素C「政治的・経済的等々の不平等を不当だと考える」：3点

- ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば可。
- △ 説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素D 「人々の嫉妬感情が爆発的に拡大していった」…2点

○「爆発的に」はなくても可。ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば可。

△説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素E 「そうした状況を生み出す中心にあったのが…人間の想像力であった」…2点

○「想像力」を「嫉妬拡大」の契機・理由・原因と捉え、ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば可。

△説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素F 「他者を自分と同類と見なす」…3点

○ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば可。

△説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素G 文末表現は「…から…ので…ため…という理由」という形が原則。

▲理由説明答案の文末表現として不適切と判断される場合は▲1点減点。

問三 20点

■模範解答例 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A○3点

B○3点

C○3点

平等と差異は、民主主義に不可欠の構成要素であるが、この両者の絶妙なバランスのうえに成立するのが嫉妬であるという点において、嫉妬は民主主義の前提条件ということができると同時に、不平等にいかなる正

E○3点

統性もないとする民主的な諸制度が、平等な人間同士のわずかな差異に基づく

G○2点

嫉妬を不可避なものにもし

たという^Hこと。(20点)

■字数…百五十字 七十四字以下のものは全体不可(0点)

■形式上の不備

・文末表現は要素H参照

◆加ポイント

■要素A 「平等と差異」…3点

○ほぼ同内容の表現が答案中にあれば可。

△説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素B 「(要素Aは)民主主義に不可欠の構成要素である」…3点

○ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば可。

△説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素C 「この両者(＝平等と差異)の絶妙なバランスのうえに成立するのが嫉妬であるという点」…3点

○ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば可。

△説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素D「嫉妬は民主主義の前提条件といふことができる」…3点

- ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば可。
- △説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素E「不平等にいかなる正統性もないとする民主的な諸制度」…3点

- 「な諸制度」はなくても可。ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば広く許容して可。
- △説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素F「平等な人間同士のわずかな差異に基づく(嫉妬)」…3点

- 「わずかな」はなくても可。ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば可。
- △説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素G「(要素Eが)嫉妬を不可避なものにした」…2点

- ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば可。
- △説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素H 文末表現は「…(という)こと」という形が原則。

- ▲不適切であると判断される場合は1点減点。

問四 10点

■模範解答例 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A○2点

移住や転職、生活環境の充実や社会的地位の上昇などによって、自分の人生はよい方向に進んでいるという

B○3点

C○2点

好ましい感覚を、旅行や観光は人間に擬似的に経験させるということ。(10点)

D○3点

E

■字数…八十字 三十九字以下のものは全体不可(0点)

■形式上の不備

- ・文末表現は要素E参照

■要素A「移住や転職、生活環境の充実や社会的地位の上昇などによって」…2点

- 「生活環境の充実・変化」とほぼ同内容の説明があると判断できれば可。
- △説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素B「自分の人生がよい方向に進んでいるという好ましい感覚」…3点

- 「好ましい」はなくても可。ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば可。
- △「人生」という語がなく、他はほぼ同様の説明がなされている場合は2点。
- △説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素C「旅行や観光は」…2点

- 「旅行」「観光」はいずれか一つで可。ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば可。
- △説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素D 「人間に擬似的に経験させる」…3点

○ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば可。

△説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素E 文末表現は「…(という)こと」という形が原則。

不適切であると判断される場合は▲1点減点。

Ⅱ 現代文 50 点

問一 2 点×4＝8 点

- (a) 合意 (b) 流布 (c) 儒学 (d) 培

問二 6 点

■模範解答例 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A○1点 B○2点

C○1点

D○1点

哲学とは、真理と知恵を愛し求めてより善く生きようとする人間の普遍的なあり方であり、人間の本質に

E○1点

F

関わるものであって、その基本理念は人間の定義になるはずであるから。(6点)

■字数：八十字 三十九字以下のものは全体不可(0点)

■形式上の不備

・文末表現は要素F参照

◆加差点ポイント

■要素A「哲学とは」…1点

○主題提示。答案中のどこかに「哲学」という語があれば可。

■要素B「真理と知恵を愛し求めてより善く生きようとする人間」…2点

○「真理」「知恵」はどちらか一つあれば可。「愛し」はなくても可。ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば可。

△「より善く生きよう」を欠くなど、説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素C「普遍的なあり方」…1点

○ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば広く許容して可。

■要素D「人間の本質に関わる」…1点

○ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば可。

■要素E「基本理念は人間の定義になる」…1点

○ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば可。

■要素F 文末表現は「…から…ので…ため」といった形が原則。

▲理由説明答案の文末表現として不適切と判断される場合は▲1点減点。

■模範解答例 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A〇2点

B〇1点

C〇1点

哲学に関与しない時代や文化や民族が存在し、また、関与の程度に差があるなら、時代や文化や言語を超え

D〇1点

E〇1点

F〇2点

た哲学の普遍性が崩壊し、歴史上の多様な哲学的営為が 同一の普遍性を目標としたという点にも疑念が生

G

じる」点。(8点)

■字数：百字 四十九字以下のものは全体不可(0点)

■形式上の不備

・文末表現は要素G参照

◆加差点

■要素A「哲学に関与しない時代や文化や民族が存在し」…2点

○ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば可。

△説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素B「(哲学への)関与の低度に差がある」…1点

○ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば可。

■要素C「時代や文化や言語を超えた」…1点

○ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば可。

■要素D「哲学の普遍性が崩壊し」…1点

○ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば可。

■要素E「歴史上の多様な哲学的営為が」…1点

○ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば可。

■要素F「同一の普遍性を目標とした点にも疑念が生じる」…2点

○ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば可。

△説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素G 文末表現は「…(という)こと」という形が原則。不適切であると判断される場合は▲1点減点。

■模範解答例 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A〇2点

B〇2点

C〇2点

D〇2点

E〇2点

「哲学」という和製漢語は、自らとは異なる西洋文明をモデルとして移入し、近代化を意図していた東アジア文化圏の中で、東洋のどの既成学問や宗教にも対応しない西洋哲学を、特別に西洋的な営みと見なすという時代状況の中で生み出された概念であるという^Fこと。(10点)

■字数…百二十字 五十九字以下のものは全体不可 (0点)

■形式上の不備

・文末表現は要素F参照

◆加ポイント

■要素A「哲学という和製漢語は」…2点

○「哲学という語・言葉・訳語」といった表現が答案中のどこかにあれば可。

■要素B「自らとは異なる西洋文明をモデルとして移入し」…2点

○「西洋(文明)をモデルとして」という内容が読み取れば可。

△説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素C「近代化を意図していた東アジア文化圏の中で」…2点

○ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば可。

△「東アジア(文化圏)」に相当する表現を欠くなど、説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素D「東洋のどの既成学問や宗教にも対応しない西洋哲学を」…2点

○ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば可。

△説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素E「特別に西洋的な営みと見なす」…2点

○ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば可。

△説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素F 文末表現は「…(という)こと」という形が原則。

▲不適切であると判断される場合は▲1点減点。

■模範解答例 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A〇2点

古代ギリシア起源の哲学の理念は、場所・時代・状況を超えて成立する普遍性を本質と見なすものだが、

B〇3点

C〇2点

非西洋的、非ギリシア的な思考が排除されるなら、その普遍性は破綻する。また普遍性を哲学の本質と見な

D〇2点

E〇2点

すのが西洋的、ギリシア的な見方に過ぎないなら、それは特殊な思考と言うほかない。哲学が時代や場所の

F〇2点

G〇3点

H〇2点

差異や個性を超えた同一性を備えるには、あらゆる思考を許容し、普遍性そのものの普遍化を目指す必要

があると言うこと。 (18点)

■字数…二百字 九十九字以下のものは全体不可 (0点)

■形式上の不備

・文末表現は要素I参照

◆加ポイント

■要素A「古代ギリシア起源の哲学の理念は、(……) 普遍性を本質と見なす」…2点

○模範解答例の「場所・時代・状況を超えて成立する」はなくて可。

○「古代ギリシア起源の」はなくても可。ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば可。

△説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素B「非西洋的、非ギリシア的な思考が排除されるなら、その(…哲学の) 普遍性は破綻する」…3点

○「非西洋的」「非ギリシア的」のいずれか一つがあり、ほぼ同内容の説明と判断できれば可。

△説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素C「普遍性を哲学の本質と見なすのが西洋的、ギリシア的な見方に過ぎないなら」…2点

○「西洋的」「ギリシア的」のいずれか一つあり、ほぼ同内容の説明と判断できれば可。

△「西洋的」「ギリシア的」のいずれも欠くなど、説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素D「それ(…西洋的、ギリシア的な思考)は特殊な思考と言うほかない」…2点

○ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば可。

△説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素E「哲学が時代や場所の差異や個性を超えた」…2点

○ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば可。

△説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素F「(哲学が) 同一性を備えるには」…2点

○ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば可。

△説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素G「(非西洋的、非ギリシア的な)あらゆる思考を許容し」…3点

○ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば可。

△説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素H「普遍性そのものの普遍化を目指す必要がある」…2点

○ほぼ同内容の説明がなされていると判断できれば可。

△説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素I 文末表現は「…(という)こと」という形が原則。不適切であると判断される場合は▲1点減点。

問一 3点×2＝6点

(1) 3点

模範解答例 A○1点 B○1点 C○1点
夫に先立たれまして、その日すぐに出家して、

■加ポイント

A 「夫に先立たれまして」(1点)

- 「夫に先立たれ」と「まし(丁寧)」と「て」の全てができていて【1点】。
- ※ 「夫に先立たれ」 同意例 ○ 夫に死なれ・夫に先に死なれ・夫に死に遅れ 等

B 「その日すぐに」(1点)

- 「その日」と「すぐに」の両方ができていて【1点】。
- ※ 「その日」 同意例 ○ 夫が死んだ日 等
- ※ 「すぐに」 同意例 ○ そのまま

C 「出家して」(1点)

- 「出家し」と「て」の両方ができていて【1点】。
- ※ 「出家し」 同意例 ○ 尼になっ・僧になっ・仏門に入っ 等
- ※ 「剃髪して・髪を下ろして」等の有無は不問。

(2) 3点

模範解答例 A○1点 B○2点
俗世の暮らしが 何になろうかと思つて、

■加ポイント

A 「俗世の暮らしが」(1点)

- 「俗世が」の意があれば【1点】。
- ※ 「暮らし・生活」等の有無は不問。
- ※ 「俗世」 同意例 ○ 俗世間・この世・世間・現世・この世の中
- × 世の中

B 「何になろうかと思つて」(2点)

- ① 「何になろうか」の意があれば【1点】。
- ※ 「何になろうか」 同意例 ○ (反語・否定の意であればよい)
何になろうか、いや何にもならない・何にもならない
・何の甲斐もない・どうにもならない・どうでもよい
- ② 右の意がある上で「と思つて」もあれば【2点】。

A〇1点

B〇1点 C〇21点

「模範解答例」 身分の高い低いにかかわらず、女性は、心に思うことが数々あっても、

D〇2点

E〇1点 F〇3点

万事、思った通りに実行することができないままになってしまふものだが、尼は、夫の死後に

G〇2点

出家を決意するとすぐに実行したので、その決意の深さが並々ならなかったことが察せられる、

とくらのこと。

■加ポイント

A 「身分の高い低いにかかわらず」(1点)

○「身分の高い低いにかかわらず」の意が読み取れれば【2点】。

※「身分の高い低いにかかわらず」 同意例 ○ 身分にかかわらず・貴賤に関係なく 等

B 「女性は」(1点)

○要素C・要素Dの主体が「女性・女」とわかれば【1点】。

※要素Cも要素Dも0点の場合は、要素Bは加点数なし。

※「女性は」 同意例 ○ 女に生まれたら・女となったら・女である身は 等

C 「心に思うことが数々あっても」(2点)

①「女性は思うことがあっても」の意が読み取れれば【1点】。

②右の意がある上で「数々・数多く・様々に」等の意も読み取れれば【2点】。

D 「万事、思った通りに実行することができないままになってしまふものだが」(2点)

①「思い通りにならないが」の意が読み取れれば【1点】。

②右の意がある上で「万事・すべて・様々に・何事も」等の意も読み取れれば【2点】。

E 「尼は」(1点)

○要素F・要素Gの主体が「尼」とわかれば【1点】。

※要素Fも要素Gも0点の場合は、要素Eは加点数なし。

F 「夫の死後に出家を決意するとすぐに実行したので」(3点)

①「出家した」の意が読み取れれば【1点】。

②「出家した」の意がある上で「夫の死後に・夫に死なれ・夫を弔うために・夫のために」等の意があれば【プラス1点】。

③「出家した」の意がある上で「決心すると・すぐに・全て(子供や土地)を捨てて」の意があれば【プラス1点】。

G 「その決意の深さが並々ならなかったことが察せられる、ということ」(2点)

○「決意の深さが並々でない・決心は浅くない」の意が読み取れれば【2点】。

△「愛情が浅くない」となっている場合は【1点】。

(ア) 10点

A ○1点

B ○2点

C ○2点

D ○2点

〔模範解答例〕

「晩中」

私に愛を誓ったことを

帝がお忘れでないならば、

私を恋しく思いつて流す

E ○1点

F ○2点

ような

帝の涙の

悲しげな色を見てみたいものです。

■加点点ポイント

A 「晩中」(1点)

○ 「晩中」の意が読み取れれば【1点】。

※ 「晩中」 同意例 ○ 夜通し・終夜

B 「私に愛を誓ったことを」(2点)

○ 「愛を誓ったことを」の意が読み取れれば【2点】。

◇ 「私に・私と・一条帝と・二人で」等の有無は不問。

※ 「愛を誓った」 同意例 ○ (男女の関係を持ったことを言っていればよい)
愛し合った・結ばれた

× 約束した

C 「帝がお忘れでないならば」(2点)

○ 「帝が忘れないならば」の意が読み取れれば【2点】。

△ 「帝が」がない場合、主体が違っている場合は【1点】。

○ 尊敬表現の有無は不問。

※ 「帝」 同意例 ○ 一条帝

D 「私を恋しく思いつて流すような」(2点)

○ 「私を恋しく思う」の意が読み取れれば【2点】。

△ 「私を」がない場合は【1点】

E 「帝の涙の」(1点)

○ 「涙」が「帝・一条帝」の流したものと分かればよい。

×これが明らかでない場合は×。

F 「悲しげな色を見てみたいものです」(2点)

○ 「色を見たい」の意が読み取れれば【2点】。

(イ) 10点

A ○2点

B ○1点

C ○1点

D ○2点

「模範解答例」 あなたの声さえ

聞かないで

死に別れる

私の魂よりも

E ○2点

F ○2点

私の亡き後、寢床に

一人で寝るようなあなたのことが悲しく思われます。

■加ポイント

A 「あなたの声さえ」(2点)

○ 「あなたの声さえ」の意が読み取れば【2点】。

※ 「あなた」 同意例 ○ 夫・夫であるあなた

▲ 「あなたの」がない場合、別の人物になっている場合は【マイナス1点】。

▲ 「さえ」がない場合は【マイナス1点】。

B 「聞かないで」(1点)

○ 「一晩中」の意が読み取れば【1点】。

※ 「聞かないで」 同意例 ○ 聞かずに・聞けずに・聞くことなく 等

C 「死に別れる」(1点)

○ 「別れる・死ぬ」の意が読み取れば【1点】。

※ 「死に別れる」 同意例 ○ 死ぬ・死んでいく・別れる・別れることになる 等

× (過去になっている) 死んだ・別れた

D 「私の魂よりも」(2点)

○ 「私の魂よりも」の意が読み取れば【2点】。

△ 「私の」がない場合、別の人物になっている場合は【1点】。

※ 「私」 同意例 ○ 妻である私

× 妻

E 「私の亡き後、寢床に」(2点)

○ 「私の亡き後、寢床(床)に」の意が読み取れば【2点】。

※ 「私の亡き後、寢床(床)に」 同意例 ○ 私の居ない寢床(床)で

△ 「私の死んだ寢床(床)に」となっている場合は【1点】。

▲ 右のいずれの場合も「私の」の意がない場合は【マイナス1点】。

▲ 右のいずれの場合も「寢床(床)」の意がない場合は【マイナス1点】。

F 「二人で寝るようなあなたのことが悲しく思われます」(2点)

○ 「二人で寝るあなたが悲しい」の意が読み取れば【2点】。

※ 「あなたが悲しい」

同意例 ○ あなたのことが悲しく思われる・あなたのことを悲しく思う

・あなたのことを悲しむ・あなたを思うと悲しい・あなたのほうが悲しい 等

× 「あなたが悲しい」の意が読み取れない場合は×。

▲ 「一人で」の意が読み取れない場合は【マイナス1点】。

▲ 「寝る・眠る」の意が読み取れない場合は【マイナス1点】。

A〇4点

「模範解答例」

「偕老同穴の契り」については、恋愛への固執が仏教的に罪深いことだと言われるが、

B〇2点

C〇6点

愛していた人との死別に当たり、悲しまずにいられないのは当然であり、亡くなる人が愛情を確認したり、残された人が亡き人を思い出しては悲しみを募らせることは理解できる、という考え。

■加ポイント

A 「偕老同穴の契り」については、恋愛への固執が仏教的に罪深いことだと言われるが」(4点)

○ 「仏教的に」の有無は不問。

① 「偕老同穴の契りは罪深い」の意が読み取れれば【2点】。

② 右の意がある上で「固執・執着」の意も読み取れれば【プラス1点】。

③ 右の「固執・執着」が「恋愛・夫婦関係」に関するものであることが読み取れれば【プラス1点】。

B 「愛していた人との死別に当たり、悲しまずにいられないのは当然であり」(2点)

○ 「愛する人の死を悲しむのは当然だ・愛する人が死ねば悲しむ者だ」の意が読み取れれば【2点】。

△ 「愛する」の意が読み取れない場合は【1点】

C 「亡くなる人が愛情を確認したり、残された人が亡き人を思い出しては悲しみを募らせることは理解でき、という考え」(6点)

① 「理解できる」の意が読み取れれば【3点】。

※ 「理解できる」 同意例 ○ 納得できる・賛同する・共感する 等

△ 【1点】 しみじみする・情趣を感じる・趣がある 等

② 右の得点が【1点】以上ある場合、

「理解」の対象として次の両方がある場合は【3点】。いずれか一つがある場合は【2点】。

- ・ 「死ぬ時に愛情を確認するのは」
- ・ 「亡き人を慕うのは・亡き人を思い出すのは」